

## 【質問】

藝術作品が鑑賞者に対し意味作用を及ぼす上で、なにが重要な要因となっていると、あなたは考えますか？ 本年度の講読をふまえると共に、さらに各自で必要な資料を参照しながら、演習で触れた以下のトピックにも視点を向けて論考にまとめなさい。

作者、鑑賞者、作者の意図、言語、コミュニケーション、語用論、展示、文脈、流行、権力、美の本質、近代と現代、自律美学と関係性の美学、形式と内容、自然物と人工物、など。

## 【留意事項】

- ・ 作成する論考の長さ（字数）は不問。目安として約2000字だが、これより長くても問題ない。
- ・ 引用や参照した文献資料の「正確な書誌」を記述すること。中国語など英語以外の文献は書名を日本語訳すること。
- ・ 論考には任意の題目をつけること。日本語で作成すること。

## 【課題提出方法・提出期限】

- ・ 論考はPDFファイルとして作成の上、メールに添付して、下記、提出先メールアドレスまで送信する。
- ・ 提出は、明日から最終期限日まで、随時受け取る。
- ・ 提出最終期限は「2020年2月19日（水）23:59」までとする。

## 【課題提出メール件名】

- ・ 課題提出メールには、下の通り、メール件名をつけること。  
「女子美院インタラクティブ空間演習後期論考 2019」

## 【課題提出完了の確認方法について】

- ・ 課題提出者には「受理確認メール」が返送される。その受信をもって提出は保証される。
- ・ 確認メールは、提出があった翌日までには送信される。
- ・ 課題を提出したが、「受理確認メール」が届かない場合は、石井まで問い合わせること。

## 【提出先メールアドレス】

takuyo.ishii @ gmail.com （石井宛）